



南浦和中だより



第 2 号
平成 29 年 5 月 1 日(月)
さいたま市立南浦和中学校
さいたま市南区辻 6-1-33
Tel. 048-863-0753
さわやか相談室 直通
Tel. 048-837-5909

《学校教育目標》 日に新た 心豊かに たくましく



「見かけだけで判断してはダメ」

ましこ けいじ
校長 益子 慶次

若葉の眩しい季節となりました。平成29年度が順調にスタートし、生徒たちの生き生きとした姿を様々な場面で目にするようになりました。1年生は部活動の本入部が始まり、また一步中学生らしくなりました。2年生は、初めて後輩ができて一生懸命面倒を見ています。生活ぶりも自覚を感じます。そして、学校の顔となった3年生は、この1ヶ月間でずいぶん最上級生らしい雰囲気が出てきました。今年度はすべての行事や取り組みに「中学校生活最後の」という言葉が付きまします。ぜひ、充実した、満足のいく1年間にしてください。

話は変わりますが、先日、実写版を見て感動してきました。

ある城に、若く美しく、だが傲慢な王子が住んでいた。ある嵐の夜、老婆が現れて懇願する。「寒さをしのがせてくださったら、一輪のバラを差し上げましょう」と。だが王子はその願いを拒絶する。老婆は美しい魔女の姿となり、城に呪いをかけ、王子を醜い野獣に、使用人達を家財道具に変えた。呪いを解くには、魔法のバラの最後の花びらが落ちる前に、王子が誰かを心から愛し、その誰かから愛されなくてはならない。さもなければ、永遠に王子は野獣のまま……。

誰もがご存じの『美女と野獣』(Beauty and the Beast) のストーリーです。



主人公のベルは、美しいだけではなく、聡明で行動力があります。村の人々に「変わり者」と言われながらも、本を愛し冒険を夢見ています。どんな状況でも自分らしく、そして、自分なりの場所が確保でき、自分の視点がもてています。人に思いやりをもつことができ、同情心があり、いろいろなことに疑問を抱ける人です。だからこそ、野獣の本質を見極め愛するようになったのです。「見かけだけで判断してはダメ」ミセス・ポットのこの台詞がこの物語のテーマです。つまり、表面だけを見て簡単に判断したり、説得されたりしないで、曇りのない眼で見れば、本質が見えてくるということです。大好きな読書によって得た想像力の翼があるからこそ、ベルは優しくなれたし偏見なく物事を見ることができたのでしょ。

新しいクラス、新しい仲間、新しい先生とスタートして1ヶ月、疲れが出てきた頃だと思います。どうしても一緒に生活していると、他人のマイナス面ばかり気になってしまう人はいないでしょうか。また、自分の耳の痛い忠告をする人を嫌がっていませんか？ 他人の悪口を言うことは簡単ですが、大切な人に注意をしたり、怒ったりすることは、とても勇気がいる行動です。ミセス・ポットの耳の痛い忠告やアドバイスをもらえた野獣は、とてもラッキーでした。おかげで、だんだん人間らしく、自己犠牲ができる心まで育てていきました。周りからの一言を、うるさいな〜と聞くか、ありがとうと聴くかはすべて本人次第です。